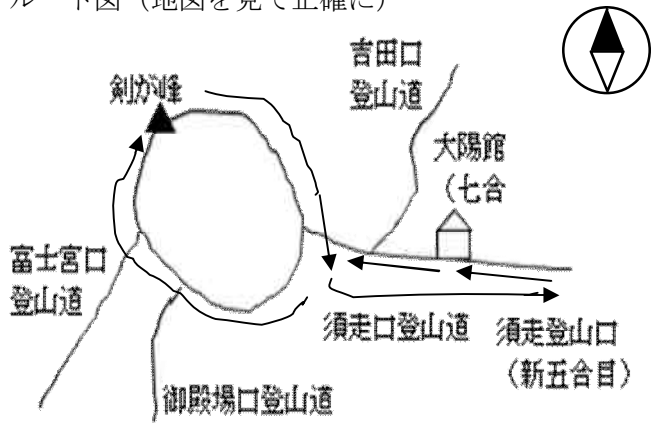


| | | | | | |
|---------------------|-----|-----|-------------------|------------|--|
| 9 月 度 例 会 山 行 報 告 書 | | 報告者 | 津田 廣一 | 参加 メンバー | CL:津田 廣一 SL:油井 武 三矢 十三世 部外者 2 名 |
| 個人 | | 報告日 | 09/29 | | |
| 山 域 | 富士山 | 山行日 | 09 年 09 月 12 日(土) | | |
| 山 名 | 富士山 | | 13 日(日) | | |

| | | |
|------|--------------|--------------------|
| 山行目的 | 富士山登頂&親睦を楽しむ | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------------|--------------------|

| | |
|---------------|---|
| 配布先 | ルート図 (地図を見て正確に) |
| 集会:12 |  |
| 山行: 1 リーダー | |
| 原紙:集会 担当者 | |




最初の一本



頂上目指し さ〜出発!

| | |
|--------------------------------------|-------------------|
| 9/12 曇り | 9/13 晴 |
| 07:00 豊橋発 (自宅 6:30 発、 三矢さんと合流) | 05:10 太陽館(七合目)発 |
| 10:40 須走口登山口着 | 05:50 本七合目一本(10分) |
| 11:05 須走口登山口発 | 06:25(八合目) |
| 12:15 一本(10分) | 06:40(本八合目) |
| 12:55 (六合目) | 07:00 九合目一本(5分) |
| 13:25 一本(5分) | 07:30(鳥居) |
| 14:35 太陽館(七合目)着 | 08:00 山頂一本(15分) |
| 15:15 高度順応へ | 08:15 お鉢巡り発 |
| 15:45 本七合目 | 09:30 剣ヶ峰 |
| 16:15 太陽館着 | 09:50 剣ヶ峰発 |
| | 10:25 須走下山口 |
| | 11:00(八合目) |
| | 11:35 太陽館一本(25分) |
| | 12:55 一本(10分) |
| | 13:30 須走口登山口着 |

〈山行報告〉【9月12日】曇天ではあっても、気分はルンルンと車を走らせる。しかし、由比近くまで来ても、富士は姿を見せない。“ま〜、今日は山小屋まで。天気は回復基調だし・・・”と思いつつ、5人で冗談も交わりながら登山口へ向かう。高速を降りると渋滞で、少々、時間をロスし10時40分に須走口駐車場に到着。車から出ると意外に寒い。登山準備をしていると、バラバラと突然の雨。急いでカッパも着こみ、11時5分に出発。油井さんトッパで、歩き出す。樹林の中で、雨も小降りになり、暑くなってきたので、カッパを脱ぐ。途中、追い抜かれても気にせず、ポレポレペースで1時間近く歩いて一本。雨も止んで、微風と眺望を楽しみながら、おにぎりを頬張る。“うまい”全員、体調もいい様だ。ゆっくりでも確実に高度を稼いでいる内に、六合目(12:55)も過ぎ、1時間歩行で一本。疲れも知らないまま、3時間半の2ピッチ半で大陽館へ到着。1時間の高度順応後、小屋へ入ってゆっくりとくつろぐ。夕飯後に、小宴を開いて楽しく歓談。9時に就眠。【9月13日】窮屈なと夜半の雨の音を気にしつつ、ウトウトと寝入って、4時起床。早速、用足しのついでに空模様を確認。“シメタ! 星が出る”と、気分良く4時半の朝食。まだ寝ている人に気を使いながら、準備をして、小屋の外へ出る。軽く準備運動をし、5時10分に出発。しばらく歩く内に、日の出だ! 少々、雲が多く、はっきりとしたお天道さまではないが、空も赤く染まって気分もいい。今日もポレポレペースで、息も乱す事なく皆で話ながら、確実に一歩、一歩と進む。昨日の高所順応で到着した本七合目で一本取り、体調を確認。今日も、全員快調だ。“よし、行け

る!”と、歩き出す。八合目・本八合目も過ぎ、1時間歩き九合目で一本。もう、はっきりと頂上は見えている。7時半に鳥居を過ぎ、8時に山頂の一角に到着し、一本。風が強い為、カッパを着込んで、お鉢巡りに出発。9時半に、最高峰剣ヶ峰に登り握手を交わして、万歳。ゆっくりと時を過ごし、山頂を一周した後は、一気に下山。太陽館で一休みし、砂走りの下山道を駆け下って、膝が譫々し始めて一本取っては、1時半に登山口へ下山。御殿場温泉会館で一風呂浴びて帰路についた。

〈リーダー所見〉富士山を目指してトレーニング山行を重ねてはいたが、初めてという2人を連れての登山であった為、頂上に立つ事を最優先で考えた。無理する事なく、無事に登れた事で、内心、ホットした山行であった。油井さん、三矢さんの両先輩方が、うまくリードしてくれたお蔭だと思っている。天候に恵まれた事と油井さんのトッパが、無理なく登れた最大要因だと思う。



日本最高峰 富士山剣ヶ峰

| | |
|--------------|----|
| 確認 (リーダー) | 津田 |
| 作成 (報告者) | 津田 |
| 09.9.29 | |